

相談支援専門員連絡会新聞 第4号 令和3年8月

発行 相談支援専門員連絡会事務局

7月5日(月)に伊那市防災コミュニティセンターにおいて、今年度1回目の相談支援専門員連絡会を開催しました。

コロナ禍の影響で対面による研修が少なくなりましたが、感染予防対策を十分

に行なった上で開催し、多くの方々に参加して頂きました。今回はサ

ービス等利用計画と個別支援計画をそれぞれ持ち寄り、サービス管理責任者の方々との意見交換を行ない、お互いの仕事を知る良い機会となりました。今後も仲間が集まることのできる貴重な場となるよう、機会を設けていきたいと考えています。



(1)『障がい児がショートステイを利用できる場所の開拓と仕組み作り』

～ワーキンググループからの報告～(4月28日、6月24日開催)

○内容としては…

・圏域内は、年間2～3人ほど障がい児の緊急のショートステイの相談があるが、ショートステイできる場所が不足しているとの課題があり、WGを立ち上げ検討しています。

①緊急事例の把握、ファミリーサポート事業、里親制度等について



の現状について確認を行ないました。

②家族からは「緊急時に利用できる場所がなく、不安…」という声が聞かれますが、まだ表出していない要望があるのではないか?という課題を共有しています。

③受け入れに関しては、人的配置への不安を感じている事業所があり、特に障がい児の場合は2名以上職員を確保する必要があると感じている様子です。

…等、課題が見えてきています。

○今後に向けて昨年度実施した聞き取り調査を、再度行なうことで潜在的なニーズの洗い出しを行ない、課題をまとめ、自立支援協議会に提案できるように進めていきます。相談支援専門員の方々は多くのケースに関わっていると思いますので、現状を教えて頂けるとありがたいです。



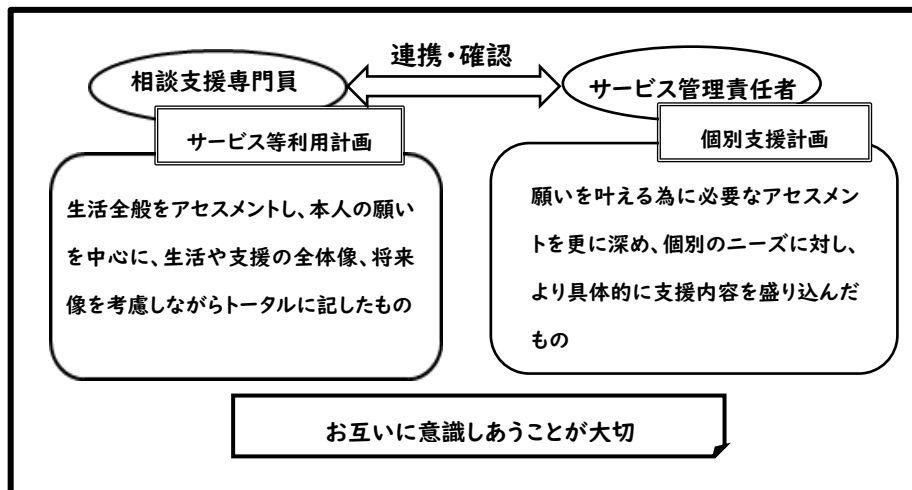
(2)『相談支援専門員とサービス管理責任者との連携は何故必要か?』

最初に上伊那圏域障がい者総合支援センター・藤原専門幹より説明があり、その後グループに分かれて意見交換を行ないました。

○そもそも『連携』とは何でしょうか?

大辞林第3版の解説にあるように、「連絡を密に取り合って、一つの目的の為に、一緒に物事をする」という意味があります。

ご本人が住みたい場所に住み続ける為に、相談支援専門員とサービス管理責任者は何が出来るのか一緒に考える為に連携することが大切です。双方が連携しながら利用者の最善の利益を考える為に設計図である『サービス等利用計画』と、具体的支援が描かれる、施工図としての『個別支援計画』がリンクすること（整合性）が意識されるかが大切になってきます。リンクされていることで事業所内連携はもちろん、他事業所との連携も上手く図ることができるのではないのでしょうか。「ご本人が満足できる生活を送る」ということを目指し、連携を図るためのツールとして『サービス等利用計画』と『個別支援計画』をもっと活用してけるとよいと思います。



また7月7日には、人材育成検討委員会と合同で Web 研修を開催しました。『相談支援事業を中心とした令和3年度障害福祉サービス等報酬改定』について、長野県障がい支援課自立支援係の渡辺公恵氏より講義をして頂きました。

加算の内容等も大きく変わり、今後の事業所運営に大きく影響があると感じました。また、たくさんの質問や活発な意見ができ、有意義な研修となったと思います。

◎情報提供

【新規事業所】



- ・放課後等デイサービス『ほしあい』

(南箕輪村) TEL0265-98-7746

◎『JOCA』が運営する『ゴツチャ!ウエルネス駒ヶ根』が9月より本格的に稼働します。また中川村の『ひだまり』も稼働しています。

【圏域外の情報】

- ・就労継続支援 B 型『うぐいすの森』

(諏訪市) 電話 0266-75-1200

- ・日中サービス支援型障がい者 GH 『ソーシャルインクルーホーム』

(岡谷市) TEL080-7111-9094

・障がい者 GH 『みんなの家』

(松本市) TEL090-4715-2485

・障がい者 GH 『ハルハウス 村井』

(松本市) TEL080-3504-1729

・障がい者 GH 『ハルハウス 大門三番町』

(塩尻市) TEL0263-87-0313

【インフォーマルな資源】

・あそびのもり、学びの杜『いっぽ!』

(南箕輪村) TEL090-2740-4597

おねがい

現在、就業支援部会で就労アセスメント表の見直しを行なっています。もし、ご意見等ありましたら、副部会長の『輪』田平さんまで連絡をして下さい。お願いします。



編集後記

先日開催された連絡会の際は、お忙しいところ多くの方にご参加頂きまして、本当にありがとうございました。コロナ禍の中で集合研修を開催する難しさが

ありましたが、皆様のお陰で何とか無事に終了することができました。

今後も連絡会で話し合われた内容や動向等も含め、昨年度に引き続き『連絡会新聞』として発信していきたいと考えています。支援員の皆様からも「うちの事業所ではこんな取り組みをしています」、「こんなことを始めました」、「こんな時はどうしたらいいの？」等々…どんなことでも構いませんので、事務局にお知らせ頂けるとありがたいです。



今後もお世話になりますが、宜しくお願いします。

事務局 上伊那圏域障がい者総合支援センター

担当者 村上、相野田

TEL (0265) 74-5627

FAX (0265) 74-8661

e-mail:ksc@ar.wakwak.com